

世田谷区では、鉄道駅からの距離が「500m」、バス停からの距離が「200m」以上のエリアを「公共交通不便地域」と定義しています。

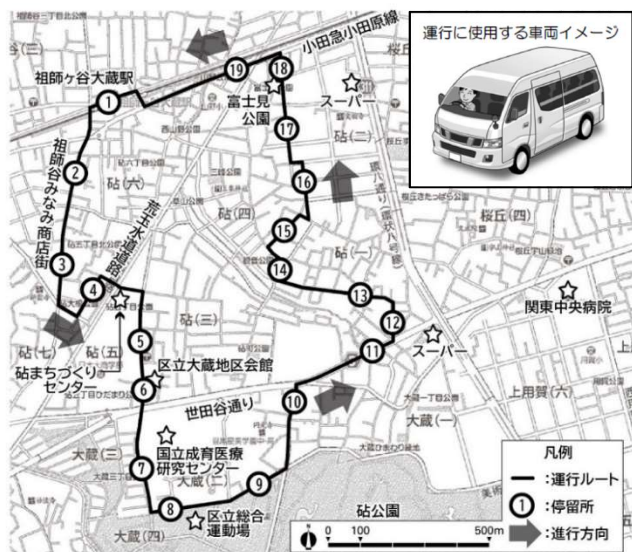
この度、第8回目の勉強会を開催しましたので、その内容をご報告いたします。

日時：令和3年6月30日（水）
10時00分～11時30分
場所：大蔵地区会館 第一会議室
参加者：10名

（第1部）これまでの検討経過について

これまでの検討経過と、昨年7月に実施した需要予測アンケートの結果について説明しました。

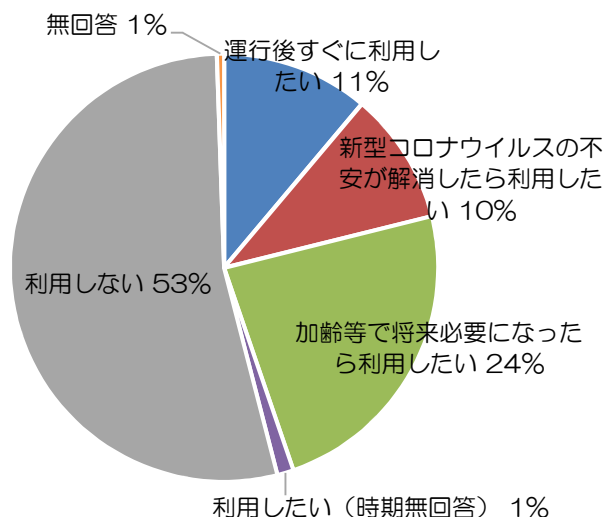
【アンケートで提示した運行計画（案）】



運行車両	ワゴン車（運転手含む10人乗り） 1台で運行
運行時間	午前8時30分～午後5時台 （午後2時30分から午後4時まで運休）
運行日数等	週5日 1日13便（約35分間隔）程度
運賃	220円（シルバーパス使用不可）
その他	反時計回りで運行し、祖師ヶ谷大蔵駅を起点に、商店街や砧まちづくりセンター、区立大蔵地区会館、総合運動場等を経由します。 なお、停留所候補地は、現段階での案であり、地権者等の合意を得たものではありません。

【コミュニティ交通の利用意向調査結果】

利用意向		票数
利用したい	運行後すぐ	125票
	新型コロナウイルスの不安が解消したら	112票
	加齢等で将来必要になったら	265票
	未回答	14票
利用しない		600票
無回答		6票
計		1,122票



○需要予測アンケートを踏まえた収支分析

アンケート結果から利用者数の予測を行ったところ、定員8名での運行を想定した場合、実証運行移行の基準として設定した収支率30%を上回る結果（収支率34.5%）となりました。

○新型コロナウイルス感染症対策を行った場合の利用予測

コミュニティ交通の感染症対策として、車内の換気や消毒に加え、乗車定員の制限を行っている事例もあったことから、乗車定員の制限を行った場合の利用予測も行いました。

乗車定員の制限を行った場合の利用予測の比較	乗車定員	年間利用者数 (人/年)	運賃収入① (円/年)	運行経費② (円/年)	収支率 (①/②)
	8人	22,092	4,860,240	14,100,000	34.5%
	5人	15,270	3,359,400	14,100,000	23.8%

- ・運行経費：事業者による見積額をもとに算出（車両経費を除く令和2年度時点の額、今後変更の可能性あり）
- ・利用意向の設問における「運行後すぐ利用したい」の回答を予測のサンプルとして抽出、顕在化率10%で算出
- ・運賃を220円、年間運行日数を261日（週5日運行：平日4日、土休日1日、祝日等を加味）で算出

○第1部でのご質問と区の回答

Q：前回の勉強会で運行ルートと重複する通学路の課題や安全対策が必要といった話があったが、その辺りの検討状況はどうか。

A：通学路の安全性を考慮し、14時半から16時までを運休とする形で協議会と調整し、交通管理者の理解を得ている旨を前回の勉強会で報告した。需要予測アンケートは、14時半から16時までの時間帯は運行しないことを明示した上で実施しており、「コミュニティ交通を利用しない理由」を聞く設問で、「利用したい時間帯に運行していないから」と回答した人は少なかった。まずは14時半から16時までの時間帯を運休した形で実証運行したいと考えている。

Q：昨今のコロナ問題で、公共交通の利用がどうなるかという懸念がある。全体的に外出が減ったと思うが、ワクチン接種の申し込みなど、総合支所やまちづくりセンターなど行政の施設に行くことが増えた気がする。祖師ヶ谷大蔵駅の北側を走るくるりんバスの利用状況に変化はあったか。

A：バスやタクシー事業者と意見交換をする中で、軒並み乗車人数が減ってきており、採算面においてもかなり厳しい経営状況であると伺っている。

○第1部でのご意見

■：最近、千葉県でおきた交通事故が報道されていた。これは大きな事故で、児童の安全を確保するという課題が、世田谷区や警察にとってより一層大きくなっていくと思う。しかし、千葉県で起きた事故と砧地区では道路などの状況は違うため、地域に応じた安全対策は何かということ冷静に判断していく必要がある。

(第2部)みんなでワーキング

新型コロナウイルス感染症の拡大により、区の財政状況は非常に厳しいものとなっています。こうした財政状況を踏まえ、コミュニティ交通の実証運行に向けては、単に交通不便地域の解消だけでなく、それ以外の効果についても改めて考える必要が生じています。

そこで、コミュニティ交通について移動利便性の向上以外の付加価値や様々な方々に興味を持っていただくため、地域の魅力の発見などについて勉強会の参加者の皆さまと議論をしました。

○ワーキングの様子

※室内の換気やパーティションの設置等、感染症対策をとったうえで2つの班で実施しました。



①「新型コロナウイルス感染症拡大による生活の変化とお困りごと」について意見交換をしました！




「生活の変化」主な意見

- ・外出が減った
- ・定期的な買物をしなくなった
- ・スーパーでまとめ買いをするようになった
- ・施設でのイベントの休止
- ・デイサービスの休止
- ・買物や家族に会うために自家用車での移動が増えた
- ・運動不足にならないよう歩くようになった
- ・ワクチン接種等、公共施設に行く頻度は下がらなかった気がする

「困りごと」主な意見

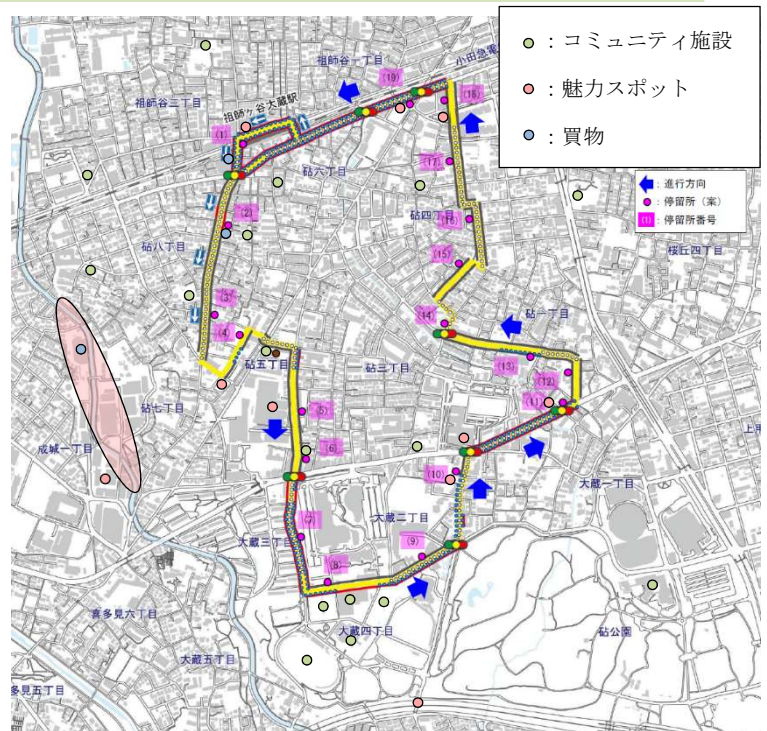
- ・引きこもるようになった
- ・気分の落ち込み
- ・運動不足とそれに伴う体力の低下
- ・家族で住んでいない方の孤立
- ・日中は自家用車を運転してくれる家族がいないことも多く外出ができない
- ・歩いていける範囲に人に会える場所がない
- ・足を痛めてしまった（移動が不便に）
- ・膝を悪くしてしまった（移動が不便に）
- ・ワクチン接種にいけない高齢者がいる

- 
- 移動手段として公共交通の必要性、重要性を改めて感じた
 - 地域の人との交流の大切さを改めて感じた

② 「地域の魅力発見」

① で意見交換した生活の変化や困りごとを踏まえ、運行ルート(案)沿線の魅力やコミュニティの核となる施設を探してもらいました！

コミュニティの核となる施設	砧まちづくりセンター
	大蔵地区会館
	砧地区会館
	砧くちなしふれあいの家
	世田谷美術館
	砧図書館
	桜丘すみれば自然庭園
	砧八丁目児童遊園
	大蔵運動場 (プール、テニス、運動場、体育館)
	自治会館
	くつろぎ処 おおがいさんち
	笑恵館
	味の民芸
	そしがや温泉



魅力スポット	NHK技術研究所 (桜、見学ブース、カフェ)
	富士見公園からの見晴らし (富士山見える)
	東名高速道路からの見晴らし (花火、富士山見える)
	東宝撮影所 (桜、ゴジラ壁画)
	農園での葡萄狩り
	仙川沿いでカワセミが見れる
	東京メディアシティ (見学会)
	既存バスへ乗り換えができる

買物など	くろがねや
	オオゼキ
	小田急OX
	人気のパン屋

その他	大蔵住宅の建て替えやマンション建設 予定状況などの見通しを踏まえコミュニティ交通の検討をしていくべき
	企業との連携やサポーターになって もらうことが大事 (広告収入など)
	回数券などを発行してコミュニティ交通を 乗りやすくする

(その他ご意見)

- この勉強会に来られない高齢者は沢山いて、その方々の声が重要である。
- 砧の取り組みの状況を、広く住民にお知らせする方法を考えるべき。

皆様の貴重なご意見ありがとうございました。次回もぜひ勉強会にご参加ください。

お問い合わせ先

世田谷区道路・交通計画部交通政策課

〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1 (A棟3階)

電話：03-6432-7946

ファクシミリ：03-6432-7991

世田谷区ホームページ>住まい・街づくり・環境>交通>交通に関する計画・方針等>公共交通不便地域対策について